

第95回資産運用委員会 議事要旨

1. 日時：令和4年10月31日（月）15：00～16：50
2. 場所：KKRホテル東京 11F 白鳥
3. 参加者：神野委員長、臼杵委員長代理、小野委員、小幡委員、
白須委員、玉木委員
4. 議事要旨

（1）令和4年度第2四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について

事務局から、厚生年金保険給付積立金、退職等年金給付積立金、経過的長期給付積立金の令和4年度第2四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について説明があり、それぞれの積立金の管理運用の方針に則り運用が行われたこと、適切なリスク管理が行われたことが確認された。

委員からは、以下の意見等があった。

・現在は金利上昇局面にあるので、債券を買わず短期資産のポジションを増やしておくことも選択肢の一つではないか。貯めた短期資金は金利の上昇が落ち着くまで待つということ。

・現状、円安効果により助かっている部分があるが、逆に為替が戻った時のリスクがあるということを認識すべきである。

・長期運用だということを踏まえ、年単位くらいで風向きをキャッチする必要があると思う。アクティブ運用のマネージャーとは引き続き対話を続け、今回の分析を今後に活かしてほしい。

・ポートフォリオ全体でパッシブとアクティブへそれぞれリスクをどう振り分けるのか考えていただきたい。マーケットインフォメーションを得られるなどのメリットとアクティブ運用にかかる費用とを踏まえ中期的にPDCAを回しながら検討いただきたい。

（２）令和４年度第１四半期のパフォーマンス要因分析

事務局から、厚生年金保険給付積立金の令和４年度第１四半期のパフォーマンス要因分析について説明があり、委員から以下の意見等があった。

- ・自分たちの運用手法についてきちんと説明できるようにしておかなくてはならない。同じ厚生年金の運用を行っている中で、他の運用主体と違うことをするのであればなおさらである。

- ・今回は第１四半期だけであったが、今後も継続して分析を行っていただきたい。

以 上